



フェデラル/ヒマラヤ アイセオ

設定
サイズ

18 17 16

15 14 13

FEDERAL HIMALAYA ICEO

問:フェデラルジャパン ☎022-355-6703 <http://federaljapan.com>



ココ注目!!

最新の

滑らない技術

氷の結晶をデザインした
サイドデザイン



サイドウォールには氷の結晶をデザインした大小のアイコンが配されたスタッドレスタイヤであることを視覚的にもアピールしている。ブロックショルダー形状はセミスクエアタイプで、雪上路でエッジ効果を持たせたデザインになっている。

グリップ力を高める
縦横のグループデザイン



こうして溝に雪を詰めてみると、ブロック間の溝を縦方向、横方向ともに比較的広くとることでブロックを独立させ雪柱せん断性能(雪を踏みしめてグリップを引き出す)を高めていることや、同時にエッジ成分を明確にして踏ん張り感や安定性を高めようとしているのがわかる。

排雪性とエッジ効果を高める
トレッドパターン



6本の縦溝をメインに構成されたトレッドデザインで、全体に溝幅が広く排雪性やエッジ性能を狙ったデザインとなっている。また、大型のショルダーブロックとヨコ溝を持たせたセンターリップは直進性や操縦安定性を意識したもの。

新品時から効果を発揮する
リブレット加工



トレッド表面には新品時から性能が出るようにリブレット加工が施されている。サイプは3Dサイプを採用し、ブロックが大きく変形した時の倒れ込みを防ぎブロック剛性を確保している。またショルダーブロックにはマイクロポンプと呼ぶ吸水ディンプルが設けられ、吸水性能アップを図っている。

ドライもスノーも不安なく走れる
高評価のアジアンブランド

台湾のメーカーであるフェデラルが開発したスタッドレスタイヤが、このフェデラル・ヒマラヤ・ICEO(アイセオ)だ。

アイセオの特徴はノルディックと名付けられた気泡入りコンパウンドを採用している点で、タイヤが摩耗することによる氷上グリップ性能を高めようというものだ。また、このコンパウンドは低温でも柔軟性を保ち、シリカの配合比を多くしている。

トレッドデザインでは合計6本の縦溝を基本に構成されたデザインで、両サイドに比較的大きめのブロックを配置して雪上でのトラクション性能やドライ路面での安定性を高めている。

試乗してまず感じたのは、ドライ路面での乗り心地がいいこと。タイヤが柔軟にたわんで路面の凹凸を吸収してくれる印象だ。それでもいながら、ドライ路面のカーブでヨレるような不安定感もない。ハンドルの利きがよく、ハンドルの操作どおりに素直に走ってくれるため、スタッドレスタイヤであることあまり意識せずに走ることができた。もちろんスタッドレスタイヤにしてはという但し書きがつくが、さらにアイセオはサイプ(極細

溝)にも工夫が凝らされており3Dサイプが採用されているので、これがうまく機能しているのだろう。

残念ながら試乗した時期の関係で、アイスバーンや圧雪路をしつかり走り込むことはできなかったが、それでも圧雪路でのトラクション性能はなかなか優秀で、不安なく走れるレベルにあることは確認できた。絶対的な性能を評価するほど走り込めなかったが、それでも予想をはるかに超えて真面目に作り込んでいるのはたしか。性能も出ているように思えた。

台湾メーカーのロープライス・スタッドレスタイヤを、一冬用として使っているユーザーも多いようだが、アイセオはその考えを覆すタイヤといってもいいだろう。

「雪道だけでなくドライも快適」

こうしたややシャープ系の路面でも目詰まりが少ないのかヨコ溝がよく効いてトラクションがかかってくれる。タイヤのスリップが少ないので、上り坂でも心強い。また、横方向にボディがふれるような不安定感も少なく、期待値以上の安定感や安心感が得られた。



ドライ路面ではタイヤがよれるような不安定感が少なく、高速道路でも問題なく走ることができた。直進性は感じられなかったがふらつきはなかった。ドライ路面では若干ノイズは出るもののスタッドレスタイヤとしてみれば許容範囲。

